

レポートの書き方

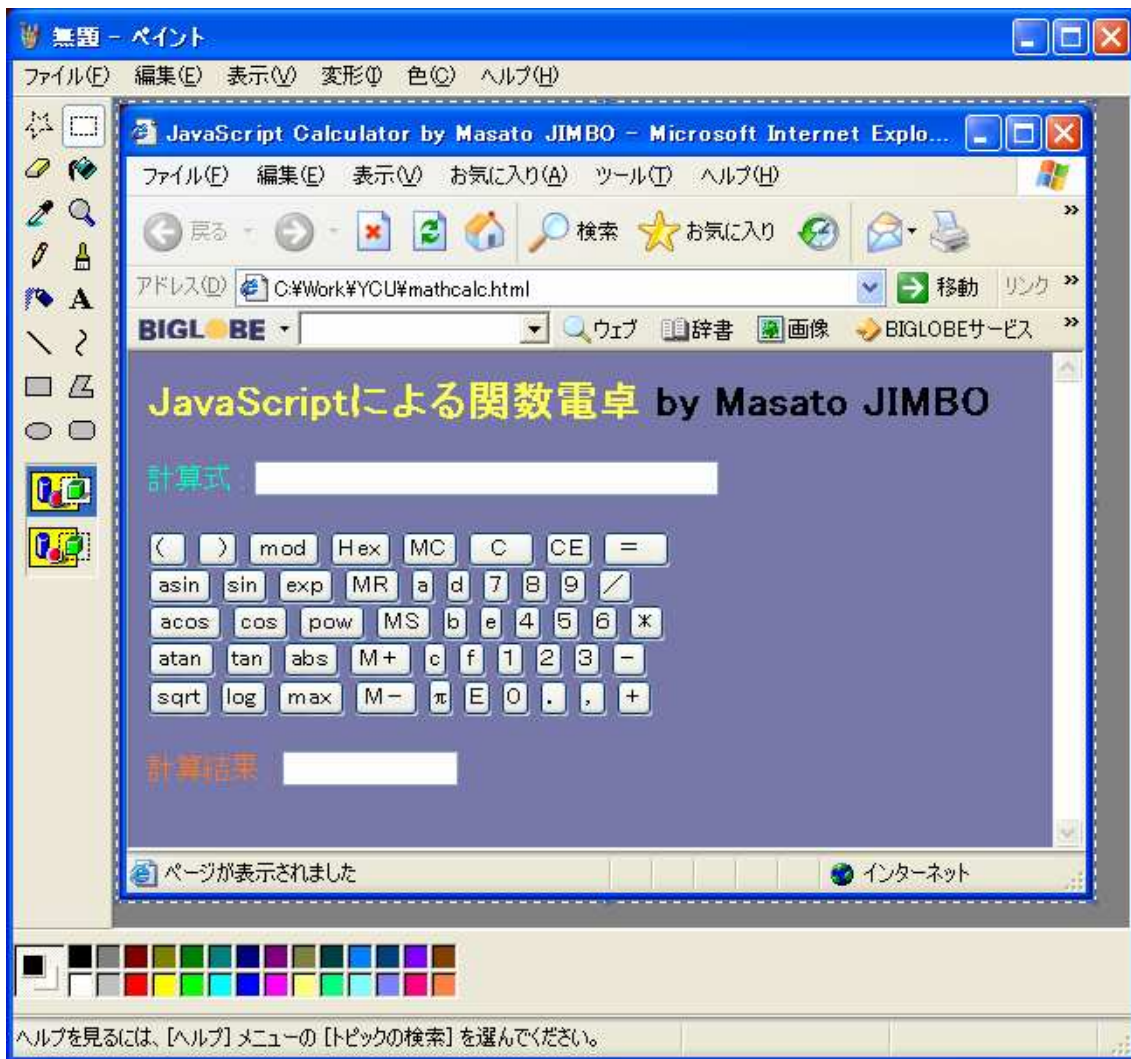
1. レポートの要件

- 1) 表紙
 - ・科目名 マルチメディア表現技術B または C レポート
 - ・題目 フォームを利用したオリジナル JavaScript プログラム
 - ・副題 各自の選んだテーマ名を記述
 - ・学科名 経済学科 または 経営学科
 - ・学年 2年, 3年 または 4年
 - ・学籍番号
 - ・氏名
- 2) 本文
 - ・テーマの説明 各自がテーマを選んだ動機, テーマの背景など
 - ・HTML 文書の構造 フォームの設計を中心として, 文書の構造を説明
 - ・プログラムの説明 JavaScript プログラムの内容を説明
- 3) 付録
 - ・ブラウザイメージ Web ブラウザで HTML 文書を表示したイメージ
 - ・HTML 文書 フォーム及びオリジナル JavaScript プログラムを含む HTML 文書の全体

* 形式的な要件としては, ワードプロセッサで作成して, A4 判の用紙に印字し, 全体をステイプラなどで閉じたものであること。また, 本文, 付録とも各セクションの表題を付けること。

2. ブラウザイメージの取り込み方

- ① HTML 文書を表示している Web ブラウザをアクティブにして, **Alt** + **PrintScreen** を押下する。これで, アクティブなウィンドウのイメージがクリップボードに取り込まれる。
- ② ペイント (通常は Windows のアクセサリの中にあるが, 横浜市立大学の PC 環境では, グラフィックスの中にある) を起動し, 「編集」 → 「貼り付け」を選択する。(次頁の図)
- ③ 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」を選択して, イメージをビットマップファイルとして保存する。
- ④ ワードプロセッサが Word の場合, 「挿入」 → 「図」 → 「ファイルから」を選択し, ③で保存したビットマップファイルを選択して, 文書中に取り込む。(他のワードプロセッサを利用する場合は, 「ヘルプ」で「図の挿入」を参照して, 方法を調べる)



3. HTML 文書の付け方

HTML 文書はテキストファイルなので、簡単に貼り付けられるが、通常の書式設定では行間が間延びしてしまう。Word の場合、「書式」→「段落」を選択し、行間を固定、間隔を 12 pt とする。また、フォントは Century では読み難いので、MS 明朝とする。(以下の例は HTML 文書の抜粋；レポートには全体を付けること)

```
<HTML>
<HEAD>
<!--
    Copyright (c) Masato JIMBO 1996
    All Rights Reserved
-->
<TITLE>JavaScript Calculator by Masato JIMBO</TITLE>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
    function clear_all(formula, answer, temp) {
```